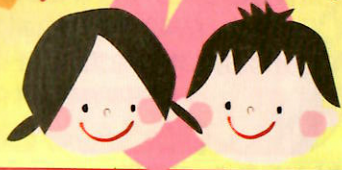


子どもたちの
笑顔のために



ボランティア団体援助金

組合員の皆さんから寄せられた「お年玉募金」の一部は「ボランティア団体援助金」として、県内の児童福祉に関わるボランティア団体に寄付されています。このコーナーでは2017年度のボランティア団体援助金を贈呈された団体を紹介しします。



～学制服のリユース(再使用)で子育てを応援～ 「子ども応援団 笑びん」

物を大切にし、 助け合いの心を育む

沖縄市の一番街で中部地域の中学・高校の学制服のリユースを通し、子どもたちや子育て中の人を応援しているのは「子ども応援団 笑びん」の森田好美さんと糸数綾乃さん。2人の子どもを育て、学制服のおさがりにとても助けられた経験のある森田さんが、「他にも喜ぶ人がもつというはず」と、自宅で活動を始めました。

同会の取り組みは口コミで広がり、自宅では保管が困難になるほど多くの学制服やジャージ、運動シューズ、かばんが寄せられました。そこで、一番街に事務所を構えて誰もが利用しやすくし、冬服の上着は千円、その他は全て500円と格安で販売しています。「経費の心配はありませんが、多くの皆さんに喜んでいただけるのが励みです」と語る森田さんと糸数さん。双子や年子で出費がかさむ、サイズのわずかな期間しか着ない、受験用など、さまざまな理由で利用され、「子ども

たちから自分の学制服が誰かの役に立つかと思うとうれしい大切に着たいと言われることがある」と目を細める2人。ここで購入した人が卒業するとまた譲りに来てくれるなど、地域のみんなで助け合うユイマール精神へと少しずつ、つながっているようです。

親子でできる体験を 提供

活動も4年目に入り、同会は「親子の思い出づくりになれば」とFMコサのラジオ番組「親子で笑びん」をスタート。毎週さまざまな親子をゲストに迎え、楽しいトークを展開しています。また、事務所では学制服のリユースの他にも、「子どもたちに外国語に触れる機会を」と英語と韓国語のワンコインレッスンや親子ワークショップを開催するなど、活動の幅も広がっています。

コープのボランティア団体援助金は語学教室に使うホワイトボードの購入や講師への謝礼に活用され、「今後もさまざま

な応援ができる場に発展させたい」と意気込む森田さん。「たんに眠っている制服やスカート用ハンガーがあれば譲っていただけると嬉しいです。また、1時間でも手伝ってもらえる仲間やラジオに出演してくれる親子も募集しています」と呼び掛けました。



「子ども応援団 笑びん」団長の森田好美さん(右)と副団長の糸数綾乃さん

子ども応援団 笑びん

活動日時: 毎週土曜 (10:00~13:00)

活動拠点: 沖縄市中央1-7-5

問い合わせ先: 090-6860-3755

(お電話は活動日のみでお願いします)

Mail: warabin2015@gmail.com

Facebook: 「子ども応援団 笑びん」で検索

ラジオ: FMコサ (76.1MHz) 「親子で笑びん」

毎週土曜 14:00~14:30